

私が、彼女の背中のこと、膝のことを「あたたかい」ものとして思い出すようになったのは、保育の中で、人の子を背負うようになってからのことである。

子どもはまず人のあたたかさを受けとる体験をし、後になって、そういう体験にあたたかいとい

言葉を当てはめるようになるのだろう。人もまた、他の人の防衛や緊張を解き、その人のいのちの力が再び湧き出すようにするという点で「あたたかい」からである。

(国立音楽大学)

天使がいた

今井 七重

香港中国返還という歴史的瞬間に立ち会うことができ、から一年五カ月後、私は日本帰国を前に悩んでいました。当時小学四年生と二年生の娘たちから

は、精神的な支えはともかくも、時間的拘束を受けることが少なくなっていたので、日本に帰ってから徐々に増えるであろう自分の時間の過ごし方につい

て思い巡らしていました。そんな時ふと目にした雑誌で国家試験である「通訳ガイド試験」(注)の存在を知ったのです。当時の私は現地の人が日常的に使う広東語を理解しないので、英語が生活手段でした。しかし、共に第二外国語としての英語ゆえ、英単語を羅列するほうが下手に文章にして言うよりお互い理解しやすいという状況下でしたので、その出来は想像に難くないと思います。ただ、ささやかながらも香港では英語の勉強をしていたので、帰国してからも継続したいと考えていました。それならば、漠然と続けるより何か目標があった方が励みになると、大胆にも「通訳ガイド試験」合格を帰国後の最優先順位に入れたのです。通訳ガイドとはいいたいどんな職業なのかもよくわからないままに、合格をめざして勉強を始めました。英語学習のインセンティブとしての受験だったので、二〇〇〇年十二月に運良く合格した後も、まさか自分が外国人観光客を前にマイクをもって観光地案内をすることなど

考えてもみませんでした。ところが、ひよんな事から外国人専用の都内定期観光バスを運行している会社と接点があり、二〇〇一年十月末、当初の思いとは裏腹にガイドデビューを飾りました。大型バスで四十名近くのお客様の前に震える手でマイクを持っている自分がいました。それから三年弱、数々の失敗や冷や汗を流しつつも、都内観光バスに乗ってくださる世界各国からのお客様の笑顔とあたたかさを支えられガイド業をどうにかこなしています。

「神社とお寺の違い」等の予想される質問には準備ができていますが、「運転手が白い手袋をしているのはなぜか」「この暑いのになぜ会社員は皆スーツにネクタイなのか」等の質問には顔面蒼白になります。今まで深く考えたこともない事柄や見慣れた光景への外国人観光客からの矢継ぎ早な質問に自分の勉強不足を痛感させられると同時に、新鮮な発見をさせてもらっています(余談ながら春の時期のマスクには、「みんな医療関係者なのか」「東京はそんな

に公害がひどいのか？」と真顔で心配する人が必ずいます。

ガイド業を通じて日本再発見と同時に毎回何か「あたたかい」という感覚を覚えます。それは、たとえば、手すりを握り締めながらバスの乗降をしなくてはいけないほどのおじいちゃまなのに、後から続く伴侶を心配し、ガイドの私より先に手を添えている姿に接した時や、熟年夫婦がツアー中ずつとなかよく手をつないで歩いている時などです。

数ある「あたたかい」経験の中でも極めつけは、ある日の午後ガイドの時です。秋葉原で下車するご夫婦にホテルまでの帰り方を案内し、行き先を日本語で書いたメモを渡し「もし、困ったら、親切そうな日本人に見せてください」と伝えました。「ありがとう。でも、私たちには天使がついているから大丈夫だわ」と言ったのです。「天使？」と聞き返した私に彼等は前日東京駅であったことを話してくれました。

『新幹線口から丸の内線に乗り換える途中、複雑すぎて迷ってしまった。近くにいた男性に尋ねると、英語がわからないようだったが、まっすぐにいつてその後曲るみたいな動作をした。

まっすぐ進み、角で「どっちに曲がるのかな……」ときよろきよろしているところから、指を右方向に出している。指案内通りに進むと分かれ道にきた。さてどうしようかと思っていると視界にまた例の男性の姿が……。結局彼は自分たちが無事丸の内線に行き着くまで、数メートル後をずつとついてきた。振り向くといつもそこにいて、「そのまままっすぐ」「右」「左」と黙って手で合図をしてくれた。まるで天使のようだった。日本人は天使だから今日の帰りも大丈夫。どうにかなる。」

彼らの話をきいて、天使の彼に感謝をしなくなっ



たのはいうまでもありません。日本人のあたたかさ
にふれた瞬間です。この話を聞いていた別のお客様
も、「私も似た経験がある。日本は思った以上に英
語が通じなくてびっくりしたが、親切な人が多い。
道を尋ねると、身振り手振りで一生懸命教えてくれ
る」と自分の体験を得意そうに語りました。すると
「あら、私なんかホテルの場所を聞いたら、そのホ
テルの前まで連れてきてくれたわ」という人までで
てきて、さながら「日本人自慢大会」の様相を呈し
たのです。

英語ができるイコール国際化などと勘違いされる
昨今ですが、ガイドを通じて感じることは、「あた
たかい」心が、「あたたかい」行動が、国際交流の
原点です。通訳ガイドは、英語力よりも人間的魅力
が必須だといわれます。言葉を超えた人と人とのふ
れあいの中で、これからも「あたたかさ」を感じ
「あたたかさ」を伝えられるガイドでありたいと
願っています。

さて、いくら、英語は二の次だと言っても、英語
力不足でお客様に満足していただけるガイドインク
ができず落ち込むことが多々あります。長女は現在
高校一年生となり、一年間交換留学生としてアメリ
カに旅立ちました。次女は中学二年生、中学入学と
同時に寮に入り長期休暇及び月に数回自宅に戻って
くる生活です。このチャンスを生かすしかない？私
は、英語力向上をめざして、三カ月ですが、一人
ニュージーランドに行くことにしました。ニュー
ージーランドでも「あたたかさ」を全身であびてきま
す。

(通訳ガイド)

注 通訳ガイド試験は、正式には「通訳案内業国家試
験」と言い、一九四九年から運輸大臣（現在の国土交通
大臣）により実施されている語学に関する唯一の国家試
験